



高専通信

2015/03

Vol. 13

National Institute of Technology, Toyama College

☑ CONTENTS

- 02 校長ご挨拶
- 03 卒業証書・修了証書授与式
- 04 卒業生・修了生の言葉
- 05 在校生の言葉
- 06 教員からのメッセージ
- 08 進路一覧
- 10 就職・進学体験記
- 12 インターンシップ
- 14 退職教職員挨拶
- 15 News&Topics
- 16 平成27年度行事予定・編集後記



Greetings

校長ご挨拶

「まず第一歩」から

校長 石原 外美



学生諸君には、学業や課外活動に忙しい日々を過ごしているものと想像しております。多忙であるからこそ、いかにして日々の仕事を実施していくか、そのための工夫が必要です。是非、自身をマネジメントする力を育成してください。

さて、諸君は、幕末の探検家・測量家であった「間宮林蔵(1780-1844)」をご存知ですか？ 彼は茨城県に生まれた測量家です。間宮林蔵は1799年～1822年にかけて、北海道・千島列島・樺太(カラフト)の探索・測量に従事し、その間、間宮海峡を発見するなど、数々の偉大な業績を残しました。また、彼は、12年間の歳月を費やし北海道の地を測量し、伊能忠敬の大日本沿海輿地全図(だいにっぽんえんかいよちぜんず)の北海道部分を完成させました。測量技術、移動手段がなく、また、北方に関する知識も皆無という当時の日本の悪い環境にあって、北海道・千島列島・樺太の探検は命懸けの仕事

であったと考えられます。間宮林蔵は、不屈の精神と忍耐力により、見事にその任務を遂行しました。

さて、人が何かを始めようとする時には、必ず始まり(第一歩)があります。往々にして人は、何かと言い訳を作って「第一歩」を逡巡・回避し、またはそれを遅らせようとします。諸君の人生において、何を達成するかは人それぞれ異なりますが、「第一歩」が大事であると思います。熟考して方針を決めたならば、できることから「第一歩」を踏み出してください。そして始めたら、迷いつつも、修正・工夫を図りながら忍耐をもって継続・遂行する。このことが、人が生涯において何かを達成するための要諦であると思います。前述の間宮林蔵の偉業が示すように、諸君には、自身並びに社会のためにチャレンジ精神をもって何かに挑戦してください。そのための「第一歩」を踏み出してください。

平成26年度卒業証書・修了証書授与式



平成26年度
**卒業証書・修了証書
授与式**
Commencement

平成26年度卒業生・修了生数

学科生	202名	専攻科生	39名
機械システム工学科	34名	エコデザイン工学専攻	
電気制御システム工学科	36名	機械・電気システム工学コース	14名
物質化学工学科	34名	機能材料工学コース	8名
電子情報工学科	42名	制御情報システム工学専攻	11名
国際ビジネス学科	46名	国際ビジネス学専攻	6名
機械工学科	1名		
電気工学科	1名		
物質工学科	2名		
電子制御工学科	2名		
情報工学科	4名		

卒業を祝して

富山高専専門学校後援会会長
莊司 和明

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、今日という日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。石原校長はじめ教職員の皆様には、今日まで温かく、時には厳しくご指導いただき本当にありがとうございました。後援会を代表して心より感謝申し上げます。

さて、皆さんは新生富山高専の第1期卒業生です。これまでの富山工業高専並びに富山商船高専の輝かしい歴史の上に生まれた高専であり、それぞれの利点を活かした専門教育、将来を見すえた国際教育は全国的にも高く評価されています。私達は、そのような教育を受け卒業するあなた達を誇りに思います。今後、どのような進路を進むにしろ大切なことが一つあります。専門的知識、経験が横軸なら人間性は縦軸です。横軸の幅を広げるだけでなく、縦軸の人間性を磨くことも大切です。その両方のバランスがとれて初めて人として成長できるのだと思います。最後になりますが、今後の皆さんの活躍と健康を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業生の皆さんへ

富山高専専門学校後援会筆頭副会長
濱谷 一郎

統合富山高専最初の卒業生として、この日を迎えられた卒業生の皆さん、そして保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また学校長をはじめ教職員の皆さまには、今日までのご指導を心より感謝申し上げます。

皆さんは就職や進学とそれぞれの道に進み、人生の大海原へと旅立ちます。その人生の航海図は、まだ真っ白なキャンパスのように白紙の状態です。

インターネットの普及で瞬時に世界中の情報を得ることはできますが、そこに生きる人々の息遣いを肌で感じることはできません。「百聞は一見に如かず」。好奇心旺盛に広い世界へ飛び出して、多くの人たちと出会い、色々なモノの見方を知り、自分の眼で世界を見る人間力を培ってください。人間のあらゆる活動は、よりよき人間社会のためにこそあらねばなりません。

新卒業生皆さんの未来に、大いなるエールを送ります。

平成26年度

卒業証書・修了証書授与式

Commencement

平成27年3月18日



5年間の思い出

電気制御システム工学科 瀬川 浩史

期待と希望を胸に抱きながら富山高専に入学して早5年が経ちました。卒業を迎えようとしている今、振り返ると5年間は長いようで短くとても充実した学生生活を送れたと感じています。

1年生のものづくり基礎工学実験では、慣れない実習船内の授業についていけず船酔いしそうになったこと。2年生になり初めて専門実験に挑んだが、何の実験をしているのか理解できなかったこと。3年生のフライス盤実習では、「これはE科の学生に必要なことなのか?」と、疑問が芽生えたこと。4年生になり電気制御システム工学科で学ぶ本当の意味についてようやく理解したこと。5年生になり、自分の進路を決めて目標に向かって努力したこと。これらの経験は、これからの人生でかけがえのない宝物になると思います。

これまでご指導いただき、成長させてくださった個性ある教職員の方々、ずっと支えてくれた家族に感謝いたします。5年間共に過ごしたクラスメイトの皆さんもありがとう。

後輩の皆様も日常をいたづらに過ごすのではなく、自分のしたいことを見定め、自ら未来を切り開きましょう。

専攻科修了を迎えて

制御情報システム工学専攻 則島 景太

専攻科での2年間は、勉強と研究とインターンシップと、たいへん充実した日々を過ごすことができました。本科時の私は、自分の実力を不十分に思い、専攻科進学を決意しました。修了を迎える今、その判断は正しかったと確信しています。専攻科での授業はクラス内だけでなく他学科を交えて行う事が多く、またオーストラリアやシンガポールからの留学生も参加しました。自分とは違った視点からの意見は興味深く、視野の広がりを実感できました。インターンシップでは、JAXA相模原キャンパスで2週間を過ごしました。勉強と試行錯誤の日々で大変でしたが、進路を考える上でのよい経験となりました。専攻科での特別研究では、研究するほど知識と理解が増えることが面白く、何度か研究成果を学会発表することもできました。2年次には学会の優秀賞を受賞することができ、自信に繋がりました。高専で得た経験と培った技術は今後さまざまな場面で役立つ事と思います。終わりに、これまでご指導いただき、成長させてくださった教職員の方々、共に過ごし支えてきた仲間達に感謝いたします。

学会賞

本校から学会等に推薦するもの

日本機械学会 山賞

志鷹 哲哉 (機械システム工学科)
和泉 遼 (電気制御システム工学科)

国立高等専門学校機構 学生表彰 (富山県機電工業会学生論文最優秀賞)

瀬川 浩史 (電気制御システム工学科)

日本原子力学会 フェロー賞

松井 大樹 (エコデザイン工学専攻)

I S T S 2014 Presentation Award

森田 友真 (エコデザイン工学専攻)

日本機械学会北陸信越支部学生賞優秀講演賞

志鷹 哲哉 (機械システム工学科)

電気学会北陸支部優秀学生賞 和泉 遼 (電気制御システム工学科)

日本電気技術者協会北陸支部優良卒業生 坂本 翔太 (電気制御システム工学科)

計測自動制御学会北陸支部優秀学生賞 浅野 孝平 (電気制御システム工学科)

映像情報メディア学会北陸支部優秀学生賞 瀬川 浩史 (電気制御システム工学科) 荘司 成照 (電子情報工学科)

日本化学会近畿支部 第17回工業高等専門学校生 化学研究発表会 支部長賞

栗本 将宏 (物質化学工学科)
新村 ののか (物質化学工学科)

R&D of Energy and Materials Sciences for Sustainable Society Tunisia-Japan Symposium Best Poster Award

有岡 優希 (エコデザイン工学専攻)

電子情報通信学会北陸支部 優秀学生賞 則島 景太 (制御情報システム工学専攻)

情報処理学会北陸支部 優秀学生賞 每原 雄介 (制御情報システム工学専攻)



ご卒業おめでとうございます

在校生代表 機械システム工学科4年 野口 和馬

桜の花の蕾も膨らみかけた今日のこの佳き日に、5年間の本科課程、並びに2年間の専攻課程を終えられる先輩方、ご卒業おめでとうございます。

先輩方と共に過ごした年月を振り返ると、様々なことを思います。私達が入学してから常に優しく、頼りがいのある先輩として、私達を支えてくださいました。学校行事や学生会活動でも、常に先頭に立ち、成功させようと努力する姿は、眩しく輝いて見えました。部活動では、目標に向かって切磋琢磨し、克己し、仲間を信じ、多くの結果を残された先輩方は、私達にとって、見習うべきよき手本となってくださいました。

そんな先輩方とのお別れが近づいていることに、たまらなく寂寥感を感じます。これから大学生や専攻科生、社会人として巣立っていく先輩方においては、将来に対しての期待だけでなく、不安もあることでしょう。しかし、高専で培ったことを礎とすれば、必ずご活躍できると信じております。私達在校生も、先輩方の存在の大きさ・大切さを噛みしめながら、先輩方の築かれた素晴らしい伝統を受け継ぎ、よりよいものへと昇華させるために、精一杯努力してまいります。

最後に、在校生一同、常に励まし、導いてくださった先輩方への感謝を申し上げますとともに、今後のご健康とご活躍を祈念いたしまして、送辞とさせていただきます。



同じ空の下で

在校生代表 電子情報工学科4年 五百崎 太郎

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。こうして皆さんが門出の日を迎えられたことは大変喜ばしいことなのですが、共に過ごした日々を思い返すと別れの寂しさを思わずにはいられません。学校行事や学生会活動、クラブ活動などを通じてみなさんは私たちに多くのことを教えてくださいました。中でも日々のクラブ活動が強く印象に残っています。私が所属する陸上競技部では、毎日の厳しい練習を先輩方にご指導いただきました。その中で私たち後輩が学んだことは、陸上競技の技術だけではなく、集団の一員としての気遣いや、周囲への感謝の心を持つという1人の人間として大切なことを、先輩方はいつでも行動で示してくださいました。先輩方が教えてくださったことを私たちは決して忘れません。

富山高専の1期生としてこの学校に新たな歴史を刻んだ先輩方の優しく頼もしい背中には私たちの憧れです。皆さんの築いた伝統を受け継ぎながら、この学校をよりよい場所にするために挑戦することが私たちの役目だと思います。富山高専は私たちに任せてください。たしかに別れは寂しいものですが、私たちは同じ空の下でいつもつながっているはずで、この学校での思い出を胸に、皆さんがそれぞれの行く先でご活躍することをお祈りしています。

学生表彰

本校表彰規程によるもの

学業優秀賞

志鷹 哲哉 (機械システム工学科)
和泉 遼 (電気制御システム工学科)
栗本 将宏 (物質化学工学科)
高島 侑里 (電子情報工学科)
山田 健斗 (国際ビジネス学科)
松井 大樹 (エコデザイン工学専攻)
上田 翔 (エコデザイン工学専攻)
則島 景太 (制御情報システム工学専攻)
村岡 佑香 (国際ビジネス学専攻)

特別賞

学生会長 屋木 悠佑 (電気制御システム工学科)
学生会長 篠崎 雅 (国際ビジネス学科)
寮生会総代 村田 智明 (電気制御システム工学科)
女子学寮会長 筏 智美 (国際ビジネス学科)

スポーツ賞

陸上競技 (男子砲丸投)
井口 佳祐 (電子情報工学科)
陸上競技 (女子100m)
杉本 有希 (国際ビジネス学科)

学生会活動功労賞

竹村 沙友理 (機械システム工学科)
中川 尚大 (電気制御システム工学科)
野上 光博 (電気制御システム工学科)
岩崎 裕太 (物質化学工学科)
栗本 将宏 (物質化学工学科)
小林 直樹 (電子情報工学科)
宮田 麻美 (国際ビジネス学科)
梅田 裕平 (国際ビジネス学科)

寮生会活動功労賞

井田 史哉 (機械システム工学科)
水越 隆仁 (電気制御システム工学科)
若田 浩樹 (電気制御システム工学科)
齋藤 誠 (物質化学工学科)

学寮会活動功労賞

弘光 夏子 (電子情報工学科)
前 亜都羽 (国際ビジネス学科)

卓越した学生に対する表彰

志鷹 哲哉 (機械システム工学科)
栗本 将宏 (物質化学工学科)
小関 紘明 (電子情報工学科)
荘司 成照 (電子情報工学科)
上田 翔 (エコデザイン工学専攻)

本郷担任・副専攻科長



機械システム工学科5年担任

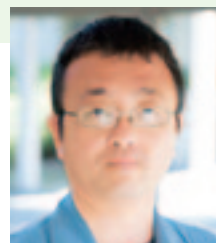
増山 圭一

卒業を祝して

機械システム工学科5年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年前、将来を託して本学科に入学されたわけですが、5年経った今、機械システムという学科を選んでどうでしたか。皆さんの要求・期待に応えられたのでしょうか気になるところです。言い尽くされた事ですが、日本は原材料を輸入して製品に加工し付加価値を与えて世界に売れる商品を開発することを目的として、他国の技術者に勝たなければなりません。そのためには、技術者は逃げたらいけません。知力、体力、想像(発想)力等を武器に物事に逃げず、失敗を恐れずぶち当たる精神力で立ち向かわれることを希望し願っています。

勉強の心得を忘れずに

電気制御システム工学科1期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ここに至るまで、多くの時間を費やしてきた勉強の仕方は、千差万別で各自に適した方法があると思いますが、私は学生時代の恩師から「勉強するということは、静かに味わいながら、繰り返し繰り返し考えることである」と教わりました。板書された授業内容を暗記することが勉強する目的ではなく、知識や技術の本質を体得することができた際に、知る喜びを感じることが勉強の醍醐味となるのではないのでしょうか。これからも勉強できる喜びを感じながら、精進してもらいたいと思います。



電気制御システム工学科5年担任

古川 裕人



物質化学工学科5年担任

森田 康文

第1期生の卒業を祝して

ご卒業おめでとうございます。皆さんが本校で学んできた知識や技術は、就職・進学を問わず将来役に立つものばかりです。言わば技術者として活躍するために最小限必要不可欠な能力です。ただしそれはあくまで基礎能力であり、それらだけでは不十分です。社会に出た場合、各人がその時々の状況において課題を抱え、必要な知識や技能を新たに習得し、問題を解決する事が要求されます。すなわちこれからも常に勉強することが必須なのです。謙虚にそして前向きに努力することで、皆さんが将来、自ら行動でき、かつリーダーシップを発揮できる人物に成長し、大きく活躍されることを期待しております。

専攻科修了おめでとうございます

エコデザイン工学専攻の多くの修了生は、富山高専で、7年間を過ごしたことになります。長いようであっという間だったのではないのでしょうか。本科の卒業時に多くのクラスメイトが富山高専を去り、自分だけ取り残された気分になったこともあったかと思います。しかし、専攻科では、本科で別学科だった者どうして一緒に学ぶ機会も多く、異なる専門分野での考え方の違いに戸惑いながらも、新たな友人が増え、有意義な2年間だったと思います。今後は、専攻科で身につけた高度な専門知識、チームワークやコミュニケーション力も発揮し、それぞれの進路でご活躍されることをお祈りしています。



副専攻科長

岡根 正樹



電子情報工学科5年担任
的場 隆一

電子情報工学科1期生！ まだ休むことは許されません!!

卒業が一区切りではありません。これまでの苦労はまだ序章に過ぎません。私の好きな「3月のライオン」という漫画の2巻に、苦労して棋士になった少年がプロになったことがゴールではなく、その後もずっと高みを目指していかなければならない苦しみを、嵐の海を泳ぐという比喩的な表現で描写した部分があります。私は大学院を出て、苦労の素である論文執筆が職務となり、そんな中これを読んで胸にこみ上げるものがありました。研鑽し今の自分を超えていく事は苦しいことです。特に何かをやり遂げた後は「まだがんばらないといけないのか?」と苦しくなります。でも、どうか留まらず停滞しないでください。どんなに苦しくても走り続けてください。それがあなたの人生を充実感で満たしてくれますから。

思い切って進もう、そして道は開ける

ご卒業おめでとうございます。

皆さんの高専生活のうちの4年間、私は担任として関わりました。この間、国際ビジネス学科1期生としての自覚を持って積極的に取り組むべきだと話してきました。新しい道を切り開いて進むことの苦楽を感じたことだろうと思います。

人生において、何事にも真剣に取り組むべきことは言うまでもありません。しかし、いくら懸命にやってもどうにもならないと思える場面に遭遇することもあるはず。そんなとき、中国の諺に「車到山前必有路」(行く手に山が立ちふさがっても、そこに道は自ずと開ける)があることを思い出してください。「きっと道は開ける」ことを、この諺は教えてくれます。まず思い切って進んでいきましょう。精一杯に生きるあなた方一人ひとりの活躍を祈っています。



国際ビジネス学科5年担任
海老原 毅

完璧にできなくても、失敗しても、一歩ずつ前へ

専攻科の修了と学士号の取得、おめでとうございます。7年間のキャンパスでの学びを経て、就職や進学などの新しい生活が始まります。これから新たな道を歩み始めるあなたに、勉学でも仕事でも役立つ行動規範：“何かをしたい者は手段を見つけ、何もしたくない者は言い訳を見つける。”を紹介させていただきます。

新しい道を歩み始めた者は誰でも、勉学・仕事・生活等のすべてにおいて、新しい問題や困難な課題と直面することになります。そんな時、「わたしにはどうせ無理、できない」と思い、言い訳を並べるより、できるようになるためにあなたが考え、工夫したりすることを勧め、完璧にできなくても、失敗してもあなたの成長の糧となり、何もしない言い訳よりもずっと素晴らしい一歩であることを言っています。

ぜひ、頭の片隅にでも入れておいてください。きっと、あなたの行動の一助となると思います。母校の教職員とキャンパスは一歩ずつ前へ進むあなたを応援しています。



専攻科長
遠藤 真



進路一覽

本郷キャンパス

就職先

企業名は50音順に記載。()内は人数。

学 科

機械システム工学科 (機械工学科を含む)

ANAラインメンテナンステクニクス/CK金属/YKK/朝日印刷/出光興産/クラシエ製薬/三協立山/ジェイベック/ダイハツ工業/タマディック/中越パルプ工業/東洋ガスメーター/富山化学工業/日本ゼオン(2)/日本発条/ファインネクス/北陸電力/丸善石油化学/陽進堂/リードケミカル

電気制御システム工学科 (電気工学科を含む)

ANAラインメンテナンステクニクス/JAなのはな/NTTファシリティーズ/YKK/アイフォーコム関西/関西電力/ジョンソンコントロールズ(2)/セイコーエプソン(2)/タマディック/東海旅客鉄道/東京電力/日本特殊陶業/北陸電気保安協会/北陸電力(3)/ムラテックCCS

物質化学工学科 (物質工学科を含む)

DIC/YKK(3)/出光興産/クラシエ製薬/三晶エムイーシー /昭和電工セラミックス/第一ファインケミカル/富山化学工業/富山スガキ(2)/ニッポンジーン/日本海環境サービス/ファインネクス/陽進堂

専攻科

エコデザイン工学専攻 機械・電気システム工学コース

三光合成/ゼオンノース/ダイト/立山科学グループ/富山地方鉄道/増山電業/三浦工業/ミズノマシナリー

エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース

黒谷/日医工/日本海洋掘削/日本触媒/陽進堂

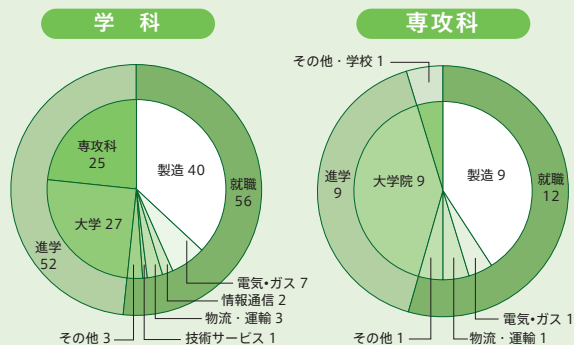
進学先

大学名は50音順に記載。

進学先	学 科			進学先	専 攻 科					
	機械	電気	物質		機械	電気	物質	進学先	機械・電気システム工学コース	機能材料工学コース
富山高専専門学校専攻科	11	8	6	東京大学		1		東京工業大学大学院	2	
大阪大学		1		東京農工大学			2	豊橋技術科学大学大学院		1
金沢大学		1	2	東北大学		1		長岡技術科学大学大学院	3	
京都工芸繊維大学			1	富山大学			3	名古屋大学大学院	1	
群馬大学		1		豊橋技術科学大学	1			奈良先端科学技術大学院		1
首都大学東京			1	長岡技術科学大学	1	2	3	北海道大学大学院		1
筑波大学	1	1		名古屋工業大学		1	1			
電気通信大学		1		室蘭工業大学			1			
				合計	14	18	20	合計	6	3

まとめ

学 科	(旧学科含む)				
	卒業予定者	就職者	進学者	その他	
機械システム工学科	35	21	14	0	
電気制御システム工学科	37	19	18	0	
物質化学工学科	36	16	20	0	
合計	108	56	52	0	
専攻科					
機械・電気システム工学コース	14	8	6	0	
機能材料工学コース	8	4	3	1	
合計	22	12	9	1	



平成27年3月18日現在

就職先

企業名は50音順に記載。()内は人数。※商船学科と海事システム工学専攻は高専通信12号で掲載済。

学 科

電子情報工学科 (電子制御工学科、情報工学科を含む)

NTTフィールドテクノ/高志インテック/三晶MEC/新日軽北陸/中部電力/東亜合成/富山第一銀行/トヨタテクニカル開発/日本放送協会/パナソニックシステムネットワークス(2)/日立国際電気/不二越/北銀ソフトウェア/北陸電力/北陸発電工事/YKK黒部事業所(4)/富山県庁

国際ビジネス学科

石友ホーム/伊勢湾海運/グレーストーン/シー・イー・ピー/新日軽北陸/富山第一銀行/日本通運/伏木海陸運送/ホテル黒部/北陸電力/YKK黒部事業所(2)/YKKビジネスサポート(2)/石川労働局/外務省/経済産業省/国土交通省/東京税関/富山県庁/富山市役所/高岡市役所/内閣府/横浜税関(2)

商船学科 (※)

出光興産/インターモーダルエンジニアリング/宇部興産海運/川崎汽船/グローバル オーシャン ディベロップメント/JXオーシャン(旧 JX日鉱日石タンカー)/澁谷工業/商船三井/シントミコーポレーション(新富観光サービス代理店)/新日本海フェリー/ダイキン工業/太洋日本汽船/日本海運/日本海曳船/日本郵船/日本郵船クルーズ/北陸建工/北陸発電工事/ヤンマーエネルギーシステム/ユニエックス

専攻科

制御情報システム工学専攻

大塚製薬(2)/三協立山/セイコーエプソン/立山科学グループ/北陸コンピュータグラフィクス/美和ロック

国際ビジネス学専攻

SEALS/日清工業/ピラミッドフィルム/北陸コンピュータグラフィクス/北陸電機商会/YKK

海事システム工学専攻 (※)

日本海洋掘削/日本通運/三徳船舶

進学先

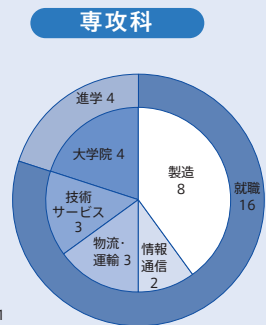
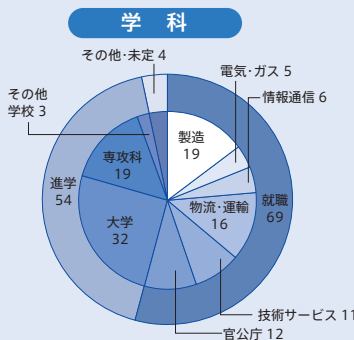
大学名は50音順に記載。

進学先	学 科			進学先	専 攻 科						
	電子情報	国際	商船		電子情報	国際	商船	進学先	制御情報	国際	海事
富山高等専門学校専攻科	11	6	2	豊橋技術科学大学	3			大阪府立大学大学院	1		
お茶の水女子大学	1			長岡技術科学大学	7		3	東北大学大学院	1		
金沢大学	1			新潟大学	1	1		長岡技術科学大学大学院	1		
神戸大学		1	1	北海道大学		1		北陸先端科学技術大学院大学	1		
埼玉大学		2		三重大学		1					
滋賀大学		2		(私)関西大学		1					
筑波大学	1	1		金沢医療センター附属看護学校	1						
東京外国語大学		1		厚生連高岡看護専門学校		1					
富山大学	1	2		大原簿記公務員専門学校		1					
				合計	27	21	6	合計	4		

まとめ

* 商船学科と海事システム工学専攻は高専通信12号で掲載済

	(旧学科含む)	卒業予定者	就職者	進学者	その他
学 科	電子情報工学科	48	21	27	0
	国際ビジネス学科	46	25	21	0
	商船学科*	33	23	6	4
	合 計	127	69	54	4
専攻科	制御情報システム工学専攻	11	7	4	0
	国際ビジネス学専攻	6	6	0	0
	海事システム工学専攻*	3	3	0	0
	合 計	20	16	4	0



平成27年3月18日現在

就職・進学体験記



本郷キャンパス

進路選択を振り返って

機械システム工学科5年

志鷹 哲哉

私は、初めは就職を考えていましたが、進路変更をして専攻科に進学することにしました。進路を変更した理由は、就職先について考えたときに本当に自分はその仕事がしたいのかわからなくなったからです。先生方からの勧めもあり、専攻科に興味を持ちました。そして専攻科で行われているPBL教育を取り入れた特別演習やインターンシップなどを通して自分が将来やりたい仕事を見つけられるのではと考え専攻科への進学を決意しました。急な進路変更でしたが、推薦をもらうことができ、合格することができたので、あと2年専攻科で勉学や研究に励みたいと思います。



本郷キャンパス

就職活動を終えて

電気制御システム工学科5年

山崎 陸斗

就職活動で悩んだことは、第一志望の企業選択です。私は、4年生の夏に県外企業のインターンシップに参加し、その企業にとっても興味を持ち、就職したいと思いました。しかし、他の企業の求人募集にも魅力を感じはじめ、僅かながら選択に迷いがありました。それで少しでも興味のある企業の説明会や見学会に積極的に参加し、種々の企業を比較検討して、迷うことなく第一志望を決めました。企業の採用選考の面接は、自信を持って緊張を楽しみながら対応することができ、無事に意中の企業から内定をいただくことができました。企業選択に少しでも迷いがあれば、積極的に行動することを勧めます。



本郷キャンパス

編入学試験を振り返って

物質化学工学科5年

高田 修平

編入学試験を通して、重要だと感じたことが2つあります。一つ目は、計画的に勉強することです。編入学試験は定期試験とは異なり非常に範囲が広く、習った内容を全部網羅することは難しいので、受験先大学の過去問から傾向を掴み、その範囲を重点的に勉強することが重要だと感じました。二つ目は、友達と協力しモチベーションを維持することです。解けない問題があった時、互いに助けあうことは、他大学の問題に触れる機会にもなり、広い知識が身につくメリットがあります。互いに目標への意識を高め合うことでやる気を持続することができ、「持つべきものは友」であると実感しました。



本郷キャンパス

就職活動を終えて

エコデザイン工学専攻
機械・電気システム工学コース2年

北川 皓大

私は、専攻科修了後の進路は就職と決めていました。進みたい業界も決まっており、1年のインターンシップでも訪問し、改めて決めました。12月から履歴書を書き始めましたが、行きたいという漠然とした思いだったため、志望動機の明確化や、自分を客観視し長所・短所をまとめることが難しく、書き直しの日々でした。4月から始まった面接では、専攻科が大学と異なる点を説明し、理解を得るよう努めました。自分がここで何を学び、何をしているのかを簡潔にまとめることが重要だと思いました。最後に、就職活動の際にご指導いただいた先生方や友人に心から御礼申し上げます。



本郷キャンパス

諦めないこと

エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース2年

竹村 由香

私は、本科と専攻科を通じて肥料や食品添加物として用いられているリン酸カルシウムを用いた水質浄化剤について研究を行ってきました。そこでリン酸カルシウムについてさらに学びたく、北海道大学大学院への進学を決意しました。しかし、入試に出題される分野は私がこれまで一度も勉強したことのない分野でした。入試の半年前から勉強を始め、何度も諦めかけましたが、先生や家族の支えもあり、無事合格することができました。これから受験や就職活動を控えた方々は不安でいっぱいと思いますが、目標に向かって諦めずに努力することが重要です。皆様のご健闘をお祈りいたします。



射水キャンパス

就職活動を振り返って

電子情報工学科5年
柴草 良太

就職活動の面接試験の際、一つでも何かに打ち込んだことがあると自分の強みになります。私にとってそれはラグビー部での経験です。よいチームワークを築くために何でも言いあえる空気を作ることや、声に出して伝えたいことを伝えることを意識しながら練習に励んでいました。私が4月からお世話になるNHKの就職セミナーに参加した際にも、採用担当の方から「1番必要な人材はチームワークがとれる人」とお話もあり、あらためて富山高専ラグビー部で5年間学んだことが自分の強みであると実感しました。就職を希望する後輩には、“自分の強み”を作るために高専生活で何か一つがんばってほしいと思います。



射水キャンパス

「使えるものは使う」

国際ビジネス学科5年
山田 健斗

編入学試験で学んだことは、「使えるものは使う」ということです。これは先輩に言われた言葉ですが、この言葉に後押しされ、私は小論文試験対策として、ある教官に輪読会をお願いしました。ある教官には英語の対策をお願いしました。また、ある教官には過去問や志望動機の添削をお願いしました。どの教官も快く受け入れてくださり、そのことが試験対策としてとても有意義だったと感じています。自分の置かれた環境を最大限に活用して自分のプラスとすること＝「使えるものは使う」こと。これが一番大切であると学びました。積極的にいきましょう。最後に一言。受験生の皆さん、BE AMBITIOUS!



射水キャンパス

先人の知識・経験を授かる

商船学科5年
寺西 透悠弥

就職活動を終えて、「先人の知識・経験を授かる」ことの重要性に改めて気づかされました。私は船員にはならず陸上で勤務を希望していました。しかし、どのような職種があり、自分が何に就きたいのかまったく分かりませんでした。その時、先輩や就職関係に詳しい教官方、学校で会社説明会を開いていただいた採用担当の方からいろいろな話を聞くことができました。その結果、自分のやりたい事を理解し、希望する会社から内定をいただくことができました。就職活動では、一度は壁にぶつかると思います。その時、様々な人から教を乞うことで現状を打破できるのではないのでしょうか。



射水キャンパス

大学院入試を終えて

制御情報システム工学専攻2年
則島 景太

私は、東北大学大学院工学研究科通信工学専攻へ進学します。専攻科入学当初は就職を考えていましたが、学会発表と懇親会及びJAXAでのインターンシップを経験し、大学院に進学することにしました。面接試験では進学後にやりたいことを重点的に聞かれ、事前に各先生の研究内容を調べ、希望する研究室も決めていたため無事に乗り越えられました。専攻科から大学院への進学は、研究の継続性もさることながら指導の先生から事前にいろいろ情報が得られる点で利点があると感じます。進学先での研究は大きなプロジェクトの元で行われ、研究に責任が伴うと感じます。高専での研究経験を糧に、引き続きがんばっていきたくです。



射水キャンパス

私の就職活動

国際ビジネス学専攻2年
村岡 佑香

就活といえば、説明会へ行き、興味のある業界・業種を見つけ、その企業の選考を受けて内定をもらうもの。しかし、実際は想像以上に業界や職種も多く、次第に「自分のやりたいこと」が何なのか分からなくなりました。就活とは、数ある選択肢の中から自分にとって最良の一つを選び出すものである。それは簡単に聞こえるが、その一つに絞りきるまでには多くの葛藤や悩みがあり、時間もかかった。一つに絞り切った今でも、果たしてそれが正解だったのかは分からない。しかし、自分自身で下した決断を信じ、誇りを持ち、全力で働こうと思う。今後は、一人富山を出て社会人になるが、この気持ちを忘れずに第二の人生を歩んでいきたい。

インターンシップ



本郷キャンパス

インターンシップに参加して

機械システム工学科4年
深山 宏樹

私は株式会社シマノ下関工場にて実習させていただきました。下関工場では自転車部品を製造しており板金、鍛造などの初工程から組み立てまでを行っています。主な実習内容は各課での工程内検査でした。1つの部品に対する検査項目の多さや標本数の多さからお客様に提供する製品を作るとはということかを学べました。また、体が大きいということも学べました。工場内は加工熱や熱処理設備の熱でとても暑くなっており、その中で作業することがとてもつらかったです。体調を崩すと仕事になりません。

全体を通して印象に残っているのは社員の方々の「我々の技術不足で」という言葉です。仕事に対する情熱、高度な技術を追求する信念を感じました。挑戦し続ける心が素敵でした。

現場での作業を通して自分の弱い部分を見つけることができました。今回体験し学んだことを今後の学生生活や普段の行動に生かしていきたいです。インターンシップに参加することができてよかったです。



本郷キャンパス

製薬会社でのインターンシップに参加して

物質化学工学科4年
三國 彩花

私はダイト株式会社でのインターンシップに参加させていただきました。5日間のインターンシップを通して、工場、研究、調査実験、試験、事務、品質管理など、幅広い製薬会社の設備や仕事を見学させていただき、どの部署も必要不可欠で協力し合うことの大切さ、1つの誤りが大きな誤りになってしまうため、どの部署でも安全かつ迅速に、そして正確に仕事をするものの大切さ、社会人としての責任感の重要性などを改めて実感することができました。また、会社の多くの方々とお話をさせていただいたことで、今後どのような知識や技能を身に付けていく必要があるのかを明確にでき、会社では専門的知識や技能だけではなく、幅広い知識や技能が必要であり、日々学ぶことが多いこと、仕事の大変さ、やりがい、会社の雰囲気なども知ることができました。

今回のインターンシップで学んだことを、今後の学生生活や就職活動、そして就職した際に活かし、自分の目標を実現できるように、さらに自分を成長させていきたいと思っています。



本郷キャンパス

インターンシップに参加して

電気制御システム工学科4年
加藤 克啓

私は夏季休暇中に、5日間のインターンシップを株式会社ミズノマシナリーで行いました。ミズノマシナリーは、アルミ精密部品・油圧機械部品を製造している会社です。今回、CAD/CAMでのアルミ製品の設計や、マシニングセンタを使って加工を体験しました。

設計や加工は学校の授業でも体験したことがありましたが、仕事でするととなると、新たに責任が加わります。他社からの注文なので妥協は一切許されず、かつ期限を守らなければ信用を失います。そんな中、従業員の方々はコミュニケーションをよくとって対応していました。

設計担当と加工担当の間では、細かい作業に関しても話し合いが行われていました。技術を習得することも大切ですが、自分の考えを相手に伝えることができないと、作業に支障をきたすことを改めて実感しました。

このインターンシップで、現場で働くことの大変さや責任など普段経験することができない非常によい経験ができたと思います。今後の進路選択に生かしていきたいです。



本郷キャンパス

インターンシップを経験して

エコデザイン工学専攻
機械・電気システム工学コース1年
中田 直樹

私は8月4日から8月8日の期間、富山県工業技術センターで実習をさせていただきました。工業技術センターは県立の試験研究機関であり、県内の中小企業への技術支援や、新しい技術の研究開発といった内容が主な業務内容です。そのため実習内容も企業から依頼された試料の解析や研究の補助といった、通常のインターンシップの内容とは少々異なる内容でした。そのような実習の中で私は技術者ではなく研究者として働くということについて学ぶことができました。理論を学び、実験し、結果について考察する、内容としては私が普段行っている特別研究などとあまり違いはありませんでしたが、姿勢や考え方といった内面的な部分が大きく違っており、学生にはない研究に対する真剣さを感じました。将来私が研究者になるかはわかりませんが、今後はインターンシップで学んだことをもとに、技術者としての能力だけではなく、研究者としての能力についても身につけていきたいと思っています。



射水キャンパス

インターンシップ を終えて

電子情報工学科4年

向山 由記

私はホームページ制作を行っているグローフィールド株式会社で実習をさせていただきました。5日間のインターンシップでは、主にPHPとHTMLを用いたWebコーディングを行い、ホームページの制作過程について学ぶことができました。

参加する前のホームページ制作会社のイメージは、パソコンと向きあってひたすらコーディングをするというものでした。しかし実際は、オフィスにはお客様からの電話が頻繁にかかり、その度に要望が変化していて、イメージとは逆の動的な現場に驚きました。そのリアルタイム性に、ホームページ制作という仕事の大変さと責任を感じるとともに、お客様の声を形にできる距離の近さに大きな魅力を感じました。

PHPとHTMLに慣れてきてからは作業をおもしろく感じ、この5日間は本当に短く感じました。私にとってこのインターンシップは、自らの将来の指針となるすばらしい経験となりました。このような貴重な機会を与えてくださった方々に厚く御礼申し上げます。そして、この5日間で得た様々なことを進路選択に活かしていきたいと思えます。



射水キャンパス

インターンシップ を終えて

制御情報システム工学専攻1年

古谷 舞

私は夏季休業期間中に東京にある株式会社明幸フォーラムにお世話になりました。私は就職先に県外を希望しており、県外で働くとはどういうことかを少しでも体感し、またIT業界で働く方々の生の声を聞くことができればと思い参加いたしました。

明幸フォーラムでは、本所で働くのではなく取引先の会社に派遣されてそこで働くことが多いため、インターンシップ期間中は様々な会社をまわり、そこで働いている社員の方々のお話を伺いました。同じ会社であっても業務内容は様々でしたが、多くの方が共通して仰っていたのはコミュニケーション能力の重要さでした。どのような現場であっても、まったく人と関わらない仕事はないし、チームで働くことも多くあります。分からないことをすぐに質問したり、相談したりすることは仕事を円滑に進めるうえでも重要なことなのだと感じました。5日間のインターンシップを通して、学校ではできない貴重な体験をさせていただきました。ここで学んだことをこれからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。



射水キャンパス

インターンシップに 参加して

国際ビジネス学科4年

大浦 香

私は射水市中央図書館でのインターンシップに参加させていただきました。予てより司書という職業に憧れを抱いていたため、このインターンシップを通して自分の適性を知ることと、司書という職業のよさを知り、今後のモチベーションを高めることを主な目的としていました。

インターンシップでは、初日からカウンターに座り、普段司書の方がされているありとあらゆる業務を実際に体験させていただきました。それらの業務を通し、学校生活では味わうことのない自分の業務に対する責任の重さや、一筋縄ではなかなか上手くいかない仕事の厳しさを感じました。しかし一方では、利用者の方から、自分のしたことに対し「ありがとう」の言葉をたくさんいただき、大きなやりがいを得られました。

インターンシップは慣れない業務で大変なこともたくさんありましたが、自分が興味をもつ職業について、しっかりと向き合うことができました。この経験を生かして、自分自身の将来がよりよくなるようにがんばってまいります。



射水キャンパス

国際インターンシップ を終えて

国際ビジネス学専攻1年

浦 沙保梨

8月21日から9月18日までの約1カ月間、北アイルランドでの国際インターンシップに参加しました。参加するにあたり、英語力の向上を主な目的としました。

インターンシップの内容としては、平日は学校で授業を受け、休日は課外活動をしていました。授業では英語だけでなく、専門分野についても勉強したので、経営やビジネスの知識をより深めることができました。また、現地の企業を訪問し、ビジネスの現場を見学することができたのは、大変いい経験となりました。課外活動は、有名な観光地を訪れたり、ボランティア活動に参加したり、北アイルランドでしかできない体験ばかりでした。

今回のインターンシップを振り返ってみると、英語学習だけでなく、多くのことを学ぶことができました。インターンシップに参加する前と比較すると、視野が広がり、考え方が180度変化したように思います。国際インターンシップでの経験は、私を大きく成長させてくれました。

退職教職員挨拶



本郷キャンパス
一般教養科(歴史)
瀬戸 薫

退職にあたって

平成16年から11年間の日々を過ごした富山高専を、2度目に担任をした学生諸君と一緒に卒業します。

雉の鳴き声で目覚める春の朝と、霊峰立山の秀麗な姿を仰ぐ高専のキャンパスは、鮮烈でした。

この11年間で、たくさんの出逢いをいただきました。専ら「手書き文字」の世界で生き、パソコンに触れたこともなかった私が、曲がりなりにもパソコンで作問できるようになれたのは、辛抱強く支えていただいた学生諸君と教職員の皆様のお蔭です。心から御礼申し上げます。有難うございました。

卓球部顧問の1人としても、優秀なOBコーチや学生諸君のお蔭で、四国から北海道まで遠征することができ

ました。遠征費の捻出に苦慮したことは、懐かしい思い出です。

入試のたびに、「こんな難問を解いて入学する学生諸君を、私の授業で歴史嫌い、日本嫌いにしてしまったのではないか」と思い、忸怩たるものがあります。しかし、「歴史を考える(自分にとっての真実を見つける)」には基礎力が必要です。従来解釈を一変させるような新証言が、これから次々に出てくるでしょう。それを是々非々で捉え、「夢を世界で実現する活力」に変えていくために、高専の歴史教育はますます重要になるはずです。

「歴史は未来を考える学問である」ことを再説して、また「手書き文字」の世界に戻ります。有難うございました。



練習船若潮丸
船長
田近 茂樹

若潮丸の5年間を振り返って

私は、昭和43年4月、旧富山商船高等専門学校航海科に入学し、昭和48年9月に卒業して以来、カーフェリーの航海士、船長、造船所のドックマスターとして、35年間海上勤務し、若潮丸の入渠が縁で平成20年4月に技術職員に採用され臨海実習場に勤務し、平成22年4月練習船若潮丸の船長に任命され今に至っています。

若潮丸の5年間を振り返ってみれば、乗船実習、実験実習、カッター大会、北斗祭、体験航海等のいろんな出来事が走馬灯の様に懐かしく思い出されます。また、1泊2日の乗船実習での学生の皆さんと共に過ごした船内共

同生活が私の一生の財産です。そして何よりも校長をはじめとする教職員の皆様方の温かいご支援とご協力により安全運航に従事することができましたことに深く感謝いたします。

何の取り得のない私が、無事退職することができ本当に有難うございました。

最後に、富山高等専門学校がスーパー高専としてのさらなる発展と学生の皆さんが今後世界に飛翔し、ますます活躍されんことを心よりお祈り申し上げて結びといたします。



射水キャンパス
専攻科
石田 弘樹

退職にあたって

本校に着任し今日まで10年間、電子技術に関係した科目を担当させて頂きました。学生の皆さん、教職員の方々に助けられながら今日まで何とか過ごすことができましたこと感謝申し上げます。特に研究室の皆さんは、いつも私の身体を気遣ってくれる優しい人達ばかりでした。退職により研究室の皆さんに迷惑をかけたことが心残りです。

人生は一度しありません。与えられた時間にも限りがあります。他人の価値観を無意識のうちに受け入れ、そのために人生を費やすよりも自分らしい生き方があるのかもしれない。確かに自分ではどうすることもできない制約や障害もあります。しかし、高専生には、自分らしい生

き方を見つけ、自己実現のために努力できる機会が与えられています。たとえ夢破れてもそこに向かってがんばる過程のほうが尊いし、魅力的にも感じます。

最近、富山を離れるため引っ越し作業をしました。車、テーブルなど大きなものは、廃棄しました。不思議と喪失感はありませんでした。お金で買ったものは、時間が経てば魅力が薄れます。ものを手に入れて気持ちが満たされるのは、一過性だと引っ越しが教えてくれました。これから社会で活躍する皆さんが、お金やものでない新しい価値を見出して素晴らしい社会を作ること期待しています。10年間、ありがとうございました。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

Joint CAST 2014 開催

1月14日(水)、本郷キャンパスにおいて、英語学習に対する意欲向上、研究発表に対するスキル向上を目的としてJoint CAST 2014が開催されました。第6回目となる今回は、本校(本郷キャンパス、射水キャンパス)、明石工専、熊本高専及び長岡技術科学大学の5拠点を結んで行われ、各キャンパスから計4名の専攻科生、学生が、英語によるプレゼンテーションを行い、招聘したnativeの外国人教員4名と熱心な質疑が行われました。本校からは、専攻科生や教職員等約50名が視聴しました。



native教員と発表学生のディスカッション



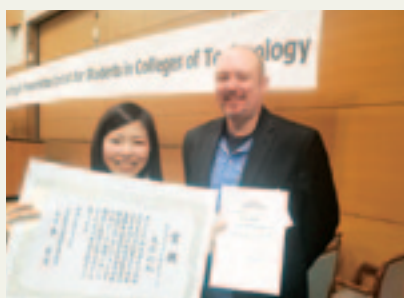
本郷キャンパスでのCAST全体の様子

英語スピーチコンテストで 2つの賞を受賞

1月24日(土)、25日(日)に、第8回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、地区大会で優勝した国際ビジネス学科(射水キャンパス)4年の大辻加さんが本大会に臨みました。

タイトルは“Close yet far”で、「一期一会」の大切さを説いたもので、惜しくも優勝は逃しましたが、特別賞(日本国際連合協会会長賞)と特別賞(COCET賞)を同時受賞しました。

大辻さんはこれからも英語の力をのばして、国際交流に努めたいと喜びの声をあげていました。



今後、研究を主として、研究者および学生の交流を促進させていくべく、活発な意見交換が行われました。



Istvan Barsony所長(左)と石原外美校長(右)



調印式に出席したスタッフ一同

ハンガリー科学アカデミーと 国際学術交流協定を締結しました

1月27日(火)、石原校長がハンガリーを訪問し、ハンガリー科学アカデミーInstitute for Technical Physics and Materials Science (MFA)と国際学術交流協定を締結しました。

当研究所は欧州内でも研究レベルの高い機関として知られており、ナノ機能性材料の物理、化学、生物学的特性の探索とナノシステム、ナノデバイスの工学的、医学的応用等を目的とした学際的な研究機関です。

とやまWeek in 東京で 本校鉄道部がジオラマ展示

北陸新幹線開業を目前に控え、富山県は3月2日(月)~8日(日)、東京丸の内商業ビルKITTE(キッテ)にて「とやまWeek in 東京」を開催しました。この中で、本校鉄道部(本郷)が大型ジオラマを展示し(6日~8日)、多くの人が見学に訪れました。

このジオラマは、北陸新幹線開業の記念事業用として富山県知事政策局から依頼され、学生が自ら設計製作したもので、県内新幹線3駅を中心とした北陸新幹線、県内の鉄道や路面電車を再現する他、大和やCiCビルなどの富山特有の建物も自分たちで作り上げています。これまでに県内外で展示され、好評を博してきました。





富山高等専門学校

平成27年度行事予定

月	学 科	専 攻 科	学 外 行 事
4	入学式 始業式 新入生オリエンテーション 前学期授業開始 定期健康診断	入学式(海事システム工学専攻を除く) 始業式 前学期授業開始 定期健康診断	
5	1年生生宿研修 交通安全講習会 合同球技大会	交通安全講習会 合同球技大会	
6	前学期中間試験	推薦入試・学力入試	北陸地区高専体育大会(6・7月)
7	カッターレース大会 前学期期末試験(7・8月) 保護者懇談会(本郷) 卒業研究発表会(商船学科 7・8月)	カッターレース大会 特別研究発表会(海事システム工学専攻)	全国商船高専漕艇大会(カッター部門)
8	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月) 夏季オープンキャンパス	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	全国高専体育大会
9	卒業式(商船学科) 保護者懇談会(射水)	修了式(海事システム工学専攻)	全国商船高専漕艇大会(ヨット部門)
10	後学期授業開始 県外工場見学(4年生) 県内工場見学(3年生) 校外研修(2年生) 校内球技大会(射水) 消防訓練	入学式(海事システム工学専攻) 後学期授業開始 校内球技大会(射水) 消防訓練	プログラミングコンテスト(全国大会) ロボットコンテスト(東海北陸地区大会)
11	第7回高専祭(志峰祭) 企業研究会 秋季オープンキャンパス 後学期中間試験	第7回高専祭(志峰祭) 企業研究会	ロボットコンテスト(全国大会) デザインコンペティション(全国大会)
12	冬季休業(12・1月)	冬季休業(12・1月)	
1	学習到達度試験(3年生) 推薦入試		英語プレゼンテーションコンテスト(全国大会)
2	後学期期末試験 学力入試 終業式 卒業研究発表会(商船学科を除く)	特別研究発表会(海事システム工学専攻を除く)	
3	卒業式(商船学科を除く)	修了式(海事システム工学専攻を除く)	

Editor's room 編集後記

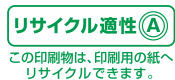


紙の写真は、金沢港で輸送を待つ北陸新幹線です。薄明の中、緊張して少し不安を抱きつつ、でも新しい生活への期待でドキドキしている——そんな雰囲気を感じて、卒業生や修了生の姿が重なりました。
入学時は15歳でまだ幼さを残していた学生が、大人の顔つきをした20歳や22歳になって卒業・修了していきます。長く共

に過ごした友人達や慣れ親しんだ母校を離れ、就職先や進学先での新しい生活が始まるのです。彼らの期待と緊張が、今号を通して少しでも伝えられたら幸いです。
なお、今年度の卒業生は新学科の1期生です。これまで卒業証書授与式は本郷キャンパスと射水キャンパスで別々に行っていましたが、今年度初めて両キャンパス合同で行いました。

広報戦略室 大竹由記子

問い合わせ先	本郷キャンパス : 〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 射水キャンパス : 〒933-0293 富山県射水市海老江練合1番2	TEL 076-493-5402 TEL 0766-86-5100	http://www.nc-toyama.ac.jp/
--------	---	--------------------------------------	---



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

